

玉龍八期会55周年記念旅行

日本の源流 奈良大和路を辿る旅（明日香・山之辺の路・奈良世界遺産）

2014（平成二六年）11.18日～20日（2泊3日）



1組 隈元達雄

●飛鳥の里へ 第一日目

昨年行った「高野山・熊野・伊勢神宮巡り」の高校同期会の旅で今年は「古都奈良ツアー」と決めて一年。奈良在住のKくんの一年がかりの周到な準備のもと昨年と同じ旅行社、同じバス、同じドライバーという気心の知れたなかでいよいよ旅が始まった。

参加者は鹿児島8名、福岡1名、関西3名、関東7名、北海道1名の合計20名。

旅をするには、多くもなくちょうど良い人数？ である。



鹿児島組8名と東京1名の降り立った関空にバスが迎えに来てくれて全員が揃う。サロン付きバスに乗り込み、葛城インター経由で車窓から橿原神宮を眺め「石舞台古墳」に向かう。



途中、「藤原宮跡」に寄る。ここは条坊制を採用した日本初の本格的な計画都市で、その広さは5km四方にも及ぶ。天武天皇の死後、その計画を皇后の持統天皇が引き継ぎ造営した。

持統8（694）年に飛鳥浄御原宮（きよみはらぐう）都が遷され、和銅3（710）年に平城京に遷るまで16年間、古代日本の首都として機能した。中心部1km四方には瓦葺の藤原宮があり、大極殿や朝堂院、役所など国の中枢機構が置かれたという（明日香村地域振興公社パンフレットによる）



昼食は「明日香めんどや」。すぐ近くに「伝飛鳥板蓋宮跡」があるので、バ



スの出発時間までの間、急いで見に行く。

そこからバスに乗り、いよいよ待ちに待った「石舞台古墳」へ。バスを降りると、そこにはKくんがお願いしていた地元ボランティアの方がお二人待機なさっていた。

10人ずつ二組に分かれて出発。階段の先に「石舞台古墳」が見えてきた。



日本最大級の石室をもつ、飛鳥路を代表する古墳。7世紀初めの築造で、一辺約55mの方墳だったが、早い時期に墳丘の盛り土がはがされ、巨大な横穴石室がむき出しになってしまった。

その特異な姿から「石舞台」の名で呼ばれるようになった。露出した石は約30個、総重量は2300tと推定されている。

また石室の全長は約19m玄室の長さ約7,7m、幅約3,4m、高さ約4,8m、調査では家形石棺と思われる石棺の破片や鉄鍬などが出土している。



被葬者は不明だが、蘇我馬子の桃原墓の可能性が高いといわれている。昭和27(1952)年には国の特別史跡に指定された。(明日香村地域振興公社パンフレット)

今回の旅の大きな楽しみの一つであった「石舞台古墳」は想像以上のもので、古代にいろいろな想いを馳せるに十分なものだった。

ブログ応答

●まほろば 407 さん

今日は^^

ようこそ奈良飛鳥の里へ・・・お疲れ様でした!>伝飛鳥板蓋宮跡(乙巳の変)を良くぞ見学出来て良かったですね

他 飛鳥寺と橘寺 そして甘樫の丘等見学されましたか?>また古都の思い出を多く綴られ~楽しい旅の思い出をお待ちして居ります(^_^)

☆奈良の旅は天気にも恵まれて楽しく有意義なものになりました。橘寺には行きませんでした。





●じじくさい電気屋さん

今晚は、何時も有り難うございます。>高校の同期会で随分お固い旅に行きましたね。

古墳巡り、石舞台テレビだは観た事有りますが行った事有りません。大型の機械も何もない時代に大きな重い石をコロだけで動かした事を偉大に思います。

>ありがとうございました。

☆いつまでも若いつもりのおじさん・お婆さんの楽しい旅行でした。飛鳥には初めて行きましたので、ワクワクしました(笑)

●よっちゃん67さん

こんばんは～～。

夕食を食べてから出掛けていて、只今帰宅です。

ご訪問有難うございます。

奈良までの旅、楽しまれた様子良かったですね。

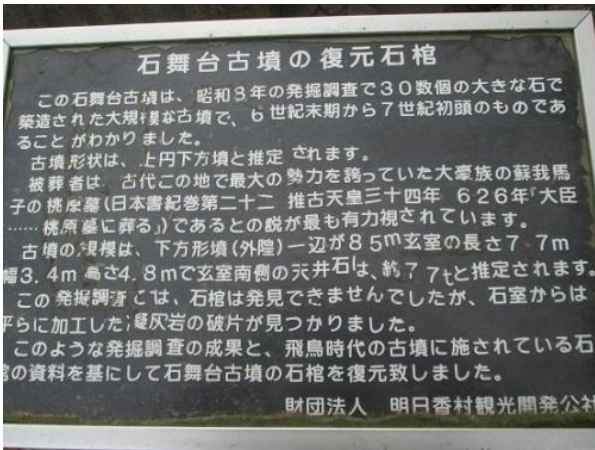
孫娘が奈良女子だにね勉強中、趣味でジャズバンドもやっています、少し前に行って来た所ですよ^-^。

奈良まで2時間、良く行きます、でも古墳には詳しく無いのです？。

長旅でお疲れでは、ゆっくり連休を楽しんで下さいね。

☆あの奈良にちょくちょく行かれるとは羨ましいです。

たくさん古墳を見てきましたが、大きすぎて「普通の山」にしか見えないものがほとんどですね。



●flamenco22さん

こんばんは～(^-^)>古墳、大好きです□

☆古墳には、何かをかきたてるものがありますね。

高校の同期会の旅だと、みなさん、学生時代からの仲間なので、盛り上がるでしょうね～

☆もう昔に返って大盛り上がりです。

当時はまだ、「男女七歳にして席を同じくせず」という考えが残っていた時代でしたので、今回初めて話をした女性も何人もいました(笑)

奈良は学生時代に一度、行ったっきりです～

☆若い人は、これから何回も行けますよ。



●kopanda06さん

こんばんは。

楽しみにしていたツアーですね。

☆おかげさまで奈良の秋を満喫して帰ってきました。

伝飛鳥板蓋宮跡も行かれたのですか。

少し歩かなくてはなりませんので大変かと思ひますし、何気ない場所にあつて意外に感じられたかもしれません。

☆昼食をとった場所から歩いて3分ほど場所にあると聞きました

ので、駆け足で行きました。行った甲斐がありました。

石舞台はとても観光客の多い場所ですが、平日は空いていたようですね。

ぬいぐるみを置くなどして、ブログ用と思われる写真を撮っている人も多く見ます。

☆駐車場には多くの車がありましたが、石舞台周辺はびっくりするくらい人が少なくてゆっくり見学出来ました。ガイドさんに教えていただき、いろいろなことを知ることが出来ました。



●あんださんのなんたさん

夜分遅くにこんばんは(^^) >奈良行かれたんですね～石舞台！>>高校の修学旅行で行きました、飛鳥。

石舞台の中にも入りましたよ(^^) >当時はなんで飛鳥…つまんな～いという感じでした。

今となっては行って良かったな、と思っています。

☆石舞台はこの歳になっても、憧れでした。やっとその想いを遂げられたという感じです。飛鳥には他にも見たい石造物があったのですが、次回を期したいと思います。

●やまもも 2968 さん

お久しぶりです、奈良市生まれのやまももです。

石舞台は奈良市から南に 26k ぐらいで、ちょうど小学校などのハイキングコースに適しており、何度も遊びに行った懐かしい場所です。

☆やまももさんのふるさとにジジ・ババ20人で行き、大騒ぎしてきました。後期高齢者が高校生に返って楽しい3日間でした。(2014.11.25 17:06:21)

飛鳥寺へ

2014.11.18

飛鳥寺も今回の旅の大きな楽しみの一つだった。

飛鳥寺・安居院（あんどいん）は蘇我馬子（そがのうまこ）が建立した日本初の本格的寺院であり、法興寺、元興寺（がっこうじ）ともよばれた。崇峻1（588）年に百濟から寺工、露盤博士、瓦博士らの来朝を得て建立に着手、推古4（596）年に完成したとされる。平城遷都に伴い新都に元興寺を建てたあとも、本元興寺として栄えた。



ここには創建当初からの飛鳥大仏が残されていたという。その飛鳥大仏とは鞍作鳥の作という「釈迦如来像」（銅製）である。住職が出てみえて、ユーモアたっぷりにこれらの説明をしていただいた。

このようなお寺の仏像などは、ほとんど撮影禁止となっているが、ここでは撮影も許されていた。

並んで立つ像は「聖徳太子孝養像」で木造、室町時代の作。

大使6歳のとき、父用明天皇の御病氣回復を祈願されている姿といわれる。



座像は「阿弥陀如来像」で木造、藤原時代の作。
堂々たるボリュームと丸顔などは藤原時代の特色をよく伝えている。(246)

ブログ応答

●悠々愛々さん

おばんでごいす。

飛鳥寺、斑鳩の里・・・太古のロマン・・・
先輩、イメージ湧いてきたぞもなし・・・
あすか、きょうか、わが命果てるのは・・・
チ～～ン・・・合掌・・・

☆続いて「なんまいだあ」皇子に 「礼拝」

●rinzoさん

飛鳥大仏は素晴らしいですね。

修復の跡が痛々しいですが、そこからかすかな飛鳥の息吹を感じることがができます。



とができます。

☆傷跡の説明もありました。

久々に奈良に行きたくなってきました。

☆住まれた人は、心が弾むでしょうね。いやあ 私も何回でも行きたいです。



●kopanda06さん

こんばんは。

飛鳥寺は変わったお寺という印象があったかもしれません。

飛鳥大仏は傷が目立ちますが、一見の価値があります。

古い独特の様式ですから。

奈良は古仏が何気なくあるので慣れてしまいましたが、よく考えればとても貴重な文化財です。

☆現在の飛鳥寺は昔の名残を残しつつも小規模になっていると思いましたが、その佇まい存在感は凄いと思いました。

飛鳥大仏は「どうぞ撮影なさってください」といことで、嬉しくなって興奮し、正面から撮ったのは全部手ブレがしていました(苦笑)

●じじくさい電気屋さん

お早うございます、何時も有り難うございます。

飛鳥の仏像撮影禁止でないのに驚きました。

ダイボ前中学生の時京都に修学旅行に行った時はほぼ撮影禁止でした。

そのころカメラを持って居ませんでしたから苦にはなりませんでした。

☆奈良でもここ以外は撮影禁止なので、頭に焼き付けるのに必死でした。

帰ってから本の写真を見て記憶を辿るありさまです。これでは本末転倒です(笑)





「思惟堂」(しゅいどう)

本尊 聖観世音菩薩が安置されている。

記憶に良く残っているのは大きな梵鐘です、場所は忘れましたが若い住職が一人でこの鐘を揺らした人はいない、もし動かしたら1万円くれると言うのです。

そこで私は指一本で動かしますと...10秒もするとグラグラ。

住職はズルだと言ってお金は頂けませんでした。残念無念。

そんなくだらない事ばかり覚えていて肝心な事を覚えられないのに歯

がゆく思います。

ありがとうございました。

☆その想いでは大変貴重なものですね。

その時代に会った思い出でそういう思い出があると、次に行かれたときの印象もまた違うのではないのでしょうか。

(2014.11.25 10:16:49)

祖我入鹿の首塚から甘樫丘公園へ



飛鳥寺の境内を西に抜けて、案内板に従って行くと五輪塔がある。大化の改新(大化1年・645年)のとき、飛鳥板蓋宮で中大兄皇子らに暗殺された時の権力者、蘇我入鹿の首がそこまで飛んできたとか襲ってきた首を供養するためそこに埋めたともいわれる。

五輪塔自体は鎌倉時代または南北朝時代の建立と考えられている。

高さ149cmの花崗岩製で、笠の形の火輪の部分が大きく、軒に厚みのあるのが、特徴であるという。(明日香村地域振興公社の「飛鳥周遊マップによる」)

下の写真の石のあるところが実際に首が飛んできたと言われる場所。その間直線でも620mあるとされるが、昔の人の話のスケールに驚く。それが、伝承と言われるものなのだろう。



首塚から飛鳥寺を振り返るとそこには古寺の佇まいがあって、何とも風情のある古都の風景があった。

こういうところに来ると何故か去りがたい想いがするのは、日本人だからな



のだろう。



「水落遺跡」は日本初の時計として知られる漏刻（水時計）台跡。

日本書紀に寄れば斉明6（660）年に、「皇太子、初めて漏刻を造り、民をして時を知らしむ」とあり、皇太子すなわち天智天皇が造らせた漏刻（水時計）と推定される。方形基壇の上に楼阁状の建造物が建っていたと考えられ、建物の内部にあたる区域には、銅管や木桶を使った複雑な導排水施設も確認されたという（明日香村地域振興公社パンフレット）

案内板にも詳細な説明があったが、ここでは割愛する。私が感じたのは7世紀という古い時代によくこういう文化があったなあということだ。

水落遺跡をあとに再びバスへ。10分くらいで「甘樫の丘展望台」の麓に着く。

飛鳥川に沿ってなだらかに続く高さ148mの丘陵を登ると明日香村の三方が望める展望台に着く。

ここから眺める大和三山（耳成山、畝傍山、香具山）は絶景であった。



それともう一つプロ友・kopanda さんからお聞きしていたここから北西？ に「二上山」も遠くに眺めることが出来た。

（下の写真で手前の山の遠くに霞む左側の山）二上山は「石舞台古墳」の石棺など、明日香の古墳石棺に使われた凝灰岩の産地だとのこと。



ブログ応答

●悠々愛々さん

おばんでございます。蘇我はいるか???? おりまへんでえ～～>首塚に、どっぴり、首つかってますがな・・・うん・・・混浴温泉????☆混浴温泉にでも入って早く寝なされ！だけど一緒に入る相手が・・・。

●じじくさい電気屋さん

今晚は、何時も有り難うございます。

入鹿の首塚供養塔、誰が供えたのでしょうか花が供えてありますね、歴史には興味の無い私でも行って見たい所です。ありがとうございました。☆近所の方かどうか史跡を守って手入れをされるのは嬉しいことです。私もこの風情が何か懐かしくいいところだと思いました。(2014.11.26 18:49:16)

●kopanda06さん

こんばんは。

入鹿の首塚は期待はずれではありませんでしたか。私は初めて見た時、ちょっとがっかりしました。

☆私は場所も良かったし、感動でした。>水落遺跡は有名なので、もっと整備して欲しいと思います。

現状ではあまり感動しないので。

☆ここは案内板にあるように時計の役割をした遺跡ですから、大変貴重なものだと思います。それだけに復元するくらいに整備してほしいと思いました二上山には変わった石が多くあります。

特に火山性の石など面白いものです。飛鳥には鬼ノ雪隠など、硬い竜山石を使って失敗した遺跡が幾つもあります。それで作り直しそこで、軟らかい二上山の凝灰岩を使うことで、様々な石像物が作られるようになりました。

☆ボランティアガイドさんも凝灰岩についてよく説明されていました。石像はもっとたくさん見たかったです。



いよいよ高松塚古墳へ

2014.11.18

「甘樫の丘展望台」をあとに、バスは「高松塚古墳」に向かう。「石舞台古墳」から同行していただいているボランティアガイドさん曰く「あなた方のコースには飛鳥の三大名所・石舞台古墳・飛鳥寺・高松塚古墳が組まれているから完璧です」



入り口にはこのような壁画を石に彫刻したものが数基置かれている。

その石の彫刻を背に前に広がるこの広場を歩いて古墳に向かう。

案内板に見る発掘前の高松塚古墳の写真。昭和46（1971）年撮影とある。



高松塚壁画館がすぐ近くにある。

入って驚いたのは、レプリカではあるが、壁画が発見された当時のままの現状模写と壁画再現模造模写、一部復元模写など室も造り当時を偲ばせるように展示されていたことだ。壁画館のパンフレット

にあるように「飛鳥の美、ここに再現」は偽りではなかった。一見の価値あり。

ここをあとに、バスに乗車しこの日の最終目的地・談山神社に向かう。宿泊も神社前の「多武峰観光ホテル」

途中車窓から「天武・持統天皇陵」を眺望する。



ブログ応答

●悠々愛々さん

おばんでございます・・・

いよいよメインイベントだすな・・・

高松塚古墳、切手にもなりましたが、すんばらしい！！

いいものを見ましたね・・・

☆飛鳥の里は初めての訪問でした。

やっと念願がかないましたが、今回時間不足で見ることの出来なかった石造物がたくさんあります。次を期したいです。

●まほろば 407 さん

こんばんは(^_^)>

何時もComment 頂き有難うございます(^_^)>

飛鳥古京の見学も佳境に入りつつありますね！昭和 46 年の高松塚古墳竹藪の側まで観に何度も行った事があります、昨日今日の様な感じ

で・・・日の経つのも早いものですね！>

談山神社へは 17 日紅葉狩り行って来ました、お暇な時に小生のブログを観て下さいね(^_^)

☆いつもありがとうございます。

貴ブログはいつも拝見していますが、今回改めて「談山神社」をキーワード検索しようとしたのですが、窓口がありません。そのうち、手探りで探してみます。



発掘前の高松塚古墳 [昭和46年撮影]
Takamatsuzuka tomb before excavation (photo taken in 1971)
발굴 이전의 카마쓰즈카(高松塚) 고분 (1971년 촬영)

●よっちゃん 67 さん

>お早うございます。>ご訪問コメント有難うございます。>どんより曇り空の朝に成って居ます^^。

>>高松塚古墳・「飛鳥の美、ここに再現」は見てみたいです。

>奈良には何度か行って居ます、でも、史跡には余り行ったことも、見た事も無いのです？

>多武峰観光ホテルでの宿泊、楽しまれたことでしょうね^^。

>今日も素敵な一日をお過ごし下さいね。☆奈良のお孫さんを訪ねられる度に一カ所づつでも回られたらいいと思います。どこに行っても古の都を感じる事が出来ます。



●kopanda06さん

こんばんは。>

近くにいると意外にも明日香に行く機会が減ります。

クマタツさんには、ぜひ明日香の石像物をご覧戴きたかったのですが、その点は残念です。

それでも須弥山石などは、復元品も含めてご覧になれたのではないのでしょうか。

☆残念ながらそれも叶いませんでした。

酒船石や亀石、そして猿石は、また機会があればご覧ください。

☆今回一部だけ見ましたが、他をますます見たくになりました。

天武・持統天皇陵は明日香の天皇陵の特徴の八角墳ですね。

そして八角墳は、先日の齊明天皇陵の発見につながり、きっと寂しかったに違いない齊明天皇の悲劇を中心とした、飛鳥時代の悲しい歴史を思わせるわけです。

☆最近NHKの「ヒストリア 石の女帝」で齊明天皇時代に造られた飛鳥の石造物をたくさん見ました。素晴らしいものばかりですね。新しく発見された牽牛子塚古墳が合葬の跡などから、日本書紀にある齊明天皇の墓ではないかなと言われていることなど興味が尽きません。

益田岩船も石室の失敗作という話も面白いですね。



高松塚古墳は昭和47(1972)年、石室に描かれた男女の群像図、四神図、星宿図などの極彩色の壁画で一躍注目を集めた円墳。7世紀末から8世紀初めの築造で、直径約23m、高さ3,5m。昭和48年に特別史跡に指定された。現在石室は解体、搬出され壁画が修復中であるが、壁画の模写や石槨模型は、離接する高松壁画館で見ることが出来る。副葬品に海獣葡萄鏡などがある。(明日香村地域振興公社パンフレット)

「特別史跡 高松塚古墳」案内板

紅葉盛りの^{たのさん}談山神社へ 旅の一日目の終り 2014.11.18



高松塚古墳をあとに、その日の宿泊地でもある多武峰(とうのみね)方面へ。バスは談山神社の手前の駐車場まで。

そこから先はマイクロバスでも通れないとのことで、出迎いの「多武峰観光ホテル」の車に乗り換えて、神社に向かう。

降り立ったところはまさに紅葉の真っ只中。紅葉の展览会かと思うほどの様々な色に彩られている。



飛鳥・方興寺で行われた蹴鞠会において出会った中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌子（後の藤原鎌足）が、藤の花盛りのころ、この寺の本殿裏山で極秘の談合をした。

この談合により、皇極天皇4（645）年飛鳥板蓋宮で蘇我入鹿を討ち、中央統一国家及び文治政治の完成という歴史的偉業を成し遂げた。多武峰はこの後、談峯・談い山・談所が森と呼ばれるようになり、「大化改新談合の地」の伝承が残った。



現在の社号「談山神社」もそこからきている。鎌足公の没後、墓は摂津国阿威山（現在の大阪府高槻市）に造られたが、白鳳（678）年、唐より帰国した長男・定慧和尚が鎌足公の遺骨の一部を多武峰山頂に改葬し、十三重塔と講堂を建立して妙楽寺と称した。

さらに大宝元（701）年方三丈の神殿を建て、鎌足公の御神像を安置した。これが談山神社の始まりである。（談山神社のパンフレット）
ここにも廃仏毀釈の嵐は吹き荒れて、明治以降に談山神社となったという。

この木造の十三重塔は、世界唯一のものだという。
写真の「三方にらみ厄除け守」はプロ友 kopanda さんから、他にはないも

のですよ、と事前に教えていただいていたので私はあと厄の次男坊のために買い求めた。そのことを仲間にも伝えと次々と買い求めていた。それにつられてほかの団体の方々も買い始めたので、売り子の巫女さんは大忙しの様子だった。

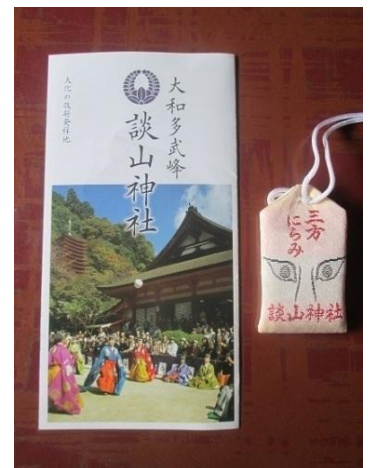
そして、その夜は神社の目の前の「多武峰観光ホテル」に宿泊した。

ブログ往来

● おばんでごいす。

紅葉狩りと珍しい十三重塔の拝観で、先輩も靈験あらたに・・・三方にらみ守りを買って求め、そして十三階段を上るのでありましたあ~~~~！！その先は?????乞うご期待！！！！

●こんばんは。



談山神社は行ったことがないので、羨ましいです。しかも素晴らしい紅葉ですね^^神社の前のホテルだなんて良いですね~ (2014.11.28 22:11:20)

●rinzo さん

昨年旅の道中に談山神社に立ち寄りしました。

紅葉の談山神社、いいですねえ。

多武峰観光ホテルから早朝の談山神社を見たいものです。

☆昨年行かれたのですね。

次回ホテルの5回からの朝の眺めを紹介します。

●神社やお寺は、本当に紅葉がよく似合いますね(*^_^*)

キレイに落ち葉が掃除されている様子なのも、すごいなあって思いました。(2014.11.29 03:45:07)

●Re:紅葉真っ盛りの「談山神社」へ(11/28)

お早うございます。ご訪問有難うございます。十三重塔は、世界唯一のものだという、、、
素晴らしいですね、行ったことも無いですし、勿論見た事も無いです、感動です^-^。

紅葉も見頃に綺麗ですよ^-^。三方にらみ厄除け守、一度は行ったみたい場所です^^^。

●クマタツさん、おはようございます 紅葉、めっちゃ、綺麗～

丁度いい時期に、行かれたんですね^^三方にらみのお守り、目力がすごいです～(2014.11.29 07:26:45)

こんばんは！

●春の陽だまりさん

こんばんは！

三方にらみのお守り、かなりのご利益がありそうですね^^

紅葉真っ盛りだったとは、羨ましいです。

今年はどうもタイミングが合わなくて、紅葉見逃してしまいました。

☆ご利益を願っています(笑)

紅葉も鹿児島ではあまり見ることは出来ませんが、談山神社で見ることが出来てラッキーでした。(2014.11.30)

●こんばんは。

鎌足公の三方にらみ厄除け守を購入されたのですね。皆さんのお役に立てて嬉しく思います。

貴重な十三重塔。いつも観光客でにぎわっていますが、それほどの混雑ではなかったようですね。

紅葉が綺麗で、歴史の舞台でもあります。奈良の良さを体感していただければ何よりです。

●よっちゃん67さん

お早うございます。

ご訪問有難うございます。

十三重塔は、世界唯一のものだという、、、

素晴らしいですね、行ったことも無いですし、勿論見た事も無いです、感動です^-^。

紅葉も見頃に綺麗ですよ^-^。

三方にらみ厄除け守、一度は行ったみたい場所です^^^。

今日も素敵な週末をお過ごし下さいね。

☆こちらこそいつもありがとうございます。

来年はお孫さんを訪ねてこの時期に行かれたらいいですよ。

パソコン復活で永らく休載した拙ブログ再開します。

(画像) 昨秋の高校同期会による「古都奈良ツアー」二日目は談山神社前の多武峰観光ホテルで目覚めた。朝風呂のあと5階の朝食会場へ。

そこで目にした光景は昨日にも増した紅葉の圧倒的な美しさだった。

この日の最初の訪問地は「山の辺の道」。そのためバスで天理トレイルセンターに向かう。ここから5, 4 km先の大神神社(おおみわじんじゃ)まで歩く予定である。先ず崇神天皇陵に参拝する。(画像) そこから歩き始めたが、途中史跡が多く、また景色も素晴らしく、思ったように歩が進まない。おまけに、途中いたるところにみかんなど季節のものが売られており、これらにも気をとられる。天理市トレイルセンターを出発して2時間、予定では大神神社に到着してはならないのに、そこまであと1, 5 kmを残した桧原神社でタイムオーバーしてしまった。これから後のこの日のスケジュールも考慮し箸墓古墳に向けて歩くことにする。途中までバスが迎えにきてくれることになった。

箸墓古墳を見学のあと、昼食場所の三輪そうめん山本・麺ゆう館に向かう。

ブログ紹介

●南国 shirokuma さん

>お久しぶりでございます。PCの復活良かったですね。(^^)

☆すったもんだの末にやっと解決です(笑)

>おっしゃる通りの日本の原風景、和みますね。

>皆さんとても元気に歩かれてる事にびっくりです。(^^)~

☆旅行記も大変遅くなりました。

正直に言いますと、思い出すのに必死ですよ(笑)

●じじくさい電気屋さん

>今晚は、御無沙汰でございます。

>パソコン復活良かったですね、私はパソコンいじりが趣味なのでポンコツばかりですが整備されたパソコンが所狭しと置いてあります。(かなり邪魔者扱いですが)

☆私はメカに弱いので、大変手間取りました。羨ましいです。

>豊かな自然が一杯の写真見させて頂きました、奈良の旅行って見たいですね。

☆奈良はいろいろ楽しませてくれました。また行きたいです(笑)

>パン工場ですが神奈川県緑区に有り山のまた山奥です、自然がとても良い所です。

>ありがとうございました。

☆日テレ注目ですね。

●あんたさんのなんたさん

>お帰りなさい、おひさしぶりです(*^_^*)

>山の辺の道、行きたかったところです!

>時間がなさ過ぎて大神神社の辺りはスルーとなってしまったのです(/_;)

>ぜひぜひリベンジしたいですね。

>とても気持ちよさそうです。

☆全くの季節はずれのアップになってしまいました。

今考えても楽しい2時間の歩きでしたよ。

●rinzo さん

>復活を待っておりました。

☆やあやあ やっとの復活です。これからもよろしくお願いします。

>やはり談山神社は素晴らしいですね。

>また行きたくなりました。

☆ここの紅葉は天下一品でしょう。

>崇神、景行天皇陵も懐かしいです。

>大学時代に友人と天皇陵巡りという地味な事をしていたことを思い出します(笑)

>残る天皇陵は淡路島の淳仁天皇陵のみなのですが、しばらく行けそうにないです。

>

>やはり大和路はいいですねえ。

☆奈良で学生時代を過ごされただけに天皇陵もたくさん行かれたのですね。羨ましい限りです。

大和路の3日間は夢のようでした。

●まほろば 407 さん

>おはようございます^^ Pcの修復良かったですね(^o^)

>

>古代大和紀行見せて頂いて・・・四季折々年に一度は散策して

>

>います、天理のトレイルセンターから 大三輪神社迄4キロ

>

>御陵あり 墳墓あり 古代の道を良く散策されました(^^♪

>

>後ろから4枚目の photo が 神霊の三輪山を望んで 代表的な

>

>眺めです。良き思い出を綴って下さい!(^^)! 有難うございました(^^♪

☆長い間ご無沙汰しました。

今日は素敵な感想をお寄せいただきありがとうございます。

いつも大和路を散策されるまほろばさんが羨ましいです。

●kopanda06 さん

>こんばんは。

>

>桧原神社まで歩かれたのですね。

>ということは、有名な三輪鳥居もご覧になったわけですね。

>本殿がないので拍子抜けかもしれませんが、昔ながらの神社です。

>

>素敵な旅行だったようで何よりです。

☆桧原神社は目的地ではなくて、大神神社まで歩く予定でした。そのためもあり桧原神社のことは事前調査をすることもなくて、三輪鳥居も本殿がないのも見落としてしまいました。

kopanda さんのご教示でネットでやっと見ることができました。もう少し周囲も見れば良かったと反省しきりです。

●chiichan60 さん

>おはようございます。

>秋の美しい紅葉のお写真を拝見したので、お邪魔して旅行記を読ませていただきました。

>今まで訪れたことのない場所ばかりです。

>高校の同期生と一緒にのどかな風景の中を旅して、楽しい時間が過ごせましたね。

☆高校を卒業してもう60年近くなりますが、同級生とはすぐ昔に戻ります。不思議なものですね。

二目を迎えた「古都奈良ツアー」は山の辺の道を天理市トレイルセンターから桧原神社（大神神社の摂社）まで散策のあと、のんびりとした道を箸墓古墳に向かった。

箸墓古墳は、こんもりとした森が鎮座するような、存在感がある。全長280m、後円部径155m、前方部長125m、前方部全面幅147mの全国11番目の前方後円墳だという。これまで見てきた他の古墳を含めて大きすぎるために、前方後円墳という形状についても目視では分かりにくい。空から見てみたいものだ。

話題閑休。余談を一つ！

箸墓古墳の見学にバスで向かう途中、古墳の近くで「日本一たい焼」の看板が目についた。

この日の昼食は「三輪そうめん山本 麺ゆう館」の予定である。ここも古墳から歩いてすぐの場所だ。そこに行く途中再びたい焼きの看板を目にする。甘党の私は、この看板を目にして猛烈にたい焼きを食べたくなった。そこでおいしいそ〜めんと柿の葉寿司の昼食もそこそこに、皆の「たい焼きも食べたい」という言葉にも応えるために、S嬢と二人で買いに走った。だが、次の予定のため、時間は余裕があるわけではない。店に着いて人数分を買おうとするが、たくさんの方が待っており、時間までには買えそうにない。交渉の末、人数分の半分の個数をやっと買って急ぎバスに間に合わせた。

仲良く半分づつ分けて食べた感想を言えば、看板に偽りはなく、とてもおいしかった。鹿児島に帰って「日本一たい焼」のことをネットで調べてみると（物好きなおじさんと笑わないで！）なんと九州の福岡が発祥で佐賀に一号店のあるフランチャイズ店であることが判明。現在九州、大阪、四国に44店舗を展開しているとのこと。ただ鹿児島には大隅半島の志布志市にあるのみとのことで残念。

・・・たいやき店の写真

肝心の昼食場所の三輪茶屋の写真も食事もアップするような写真がない。

そのあと、バスは法隆寺に向かう。

ブログ応答

●悠々愛々さん

おはようございま〜す。

古墳より、日本一のタイ焼きにコウフン！！

味は普通のタイヤキと、どう違うのですか？

☆とてもおいしくて、他に類を見ない(笑)

●よっちゃん67さん

こんにちは〜。

ご無沙汰していました、お悔やみの言葉を戴き有難うございます。

お義姉さんと言うより、私達、姉弟にはお母さんの様な間柄に成って居ました、、、
私達が幼いときに母とは死別して居て、長男のお嫁さんであり、私達の母代わりでも有ったのです。。

☆おういう間柄であれば、悲しさも一入でしたね。

ブログ、休み 休みですが更新して行きたいと思って居ます、こちらこそ、これからもよろしく願いますね。

☆私もぼつぼつです。

●じじくさい電気屋さん

こんにちは、何時もありがとうございます。

こちら今週はずーっと曇り空でお日さまを見ていません、暖かなのは良いのですが夕方からは冷えて来ます。

甘党の私も今日本一鯛焼きのサイトを開いたまま書いています、こちら関東では神奈川県の寒川に有るそうで近くまで行ったら是非寄ってみようと地図を見ている。近くには江ノ島があり海が近い所です。

写真で見ると皮が極めて薄く餡が隅々まで入っているのに思わずニヤ~っとしてしまいました。

如何も鯛焼きに特化したコメントになってしまいました。

ありがとうございました。

☆たい焼きは絶品でした。あんこもたっぷりで、とてもおいしかったですよ。近くに行かれたら是非お食べになってください。

●あんたさんのなんとさん

こんばんは^^

日本一のたい焼き、こちらでは見かけないですね。

食べてみたいです!!!

好みのたい焼きは薄めの皮であんこたっぷりです(^o^)/

☆まさにお好みの通りのものでしたよ(笑) (2015.02.25 22:32:59)

●こんばんは。

箸墓古墳はちょっとがっかりされませんでしたか。

未調査古墳というのは石室が見えないので、見所が少ないので。

日本一たい焼き、う~ん、あったかな?

こちらはたい焼きは安く、近所も1個50円。

たこやきも8個で100円ですので、関西での競争は厳しいですよ。

法隆寺と中宮寺へ 11月19日(二日目)

法隆寺の南大門近くで「下馬」という石標を目にした。法隆寺を訪れたのは2回目だが、前回は見落としていた。と言うのも、その頃はまだ石造物についても、大きな興味は感じていなかったもので、当然といえば当然である。今回目についたのには、ワケがある。以前、歴史ボランティアのIさんに鹿児島城(鶴丸城)周辺の史跡を案内してもらったときに、城の堀の近くで「ここは武士が下馬する場所だったのですよ」と案内され「武士登城の際にはここで下馬して、ここから歩いて行ったようです。あとに残された家来たちは主人が帰ってくるまで、ここ

で噂話などで時間をつぶしたのです。そのようなことから『下馬評』という言葉が生まれたそうです」ということを聞いたことがあった。するとこの法隆寺の「下馬」の石標もここに来る当時の上層階級が馬から降りる場所だったのかと思い、思わずシャッターを切っていた。

法隆寺は聖徳太子が建立した寺院として、1400年を超えて受け継がれてきた我が国現存最古の寺院建築であり、日本最初の世界文化遺産である。(奈良で会った観光ボランティアさんによると聖徳太子そのものの存在を否定する説もあるとのこと、ここでいつものように史実と伝承について考えさせられた)

さて懐かしい「南大門」である。案内板には「国宝 法隆寺総門 室町時代」とある。ここで全員での記念撮影をして、「中門」に進む。

写真では分かりにくい、中門の屋根の下、左右に金剛力士像(仁王像)がある。

・・・・・・間に仁王画像が2枚入り

二体とも350cm超の仏像で、塑像(土を固めてつくる)という。仁王像が塑像というのは珍しいが他にもあるとのことである。有名寺社のものは木彫りが多いが、私が今まで鹿児島で見た仁王像はほとんどが、石造である。もっとも廃仏毀釈により破壊されほとんどが完全な形では残っていないが・・・・。

この法隆寺の仁王像は塑像のため、傷みがはやく、吽形は体部を木彫りに置き換えたとのことである。

中門を入ると左に五重塔

ブログ応答 (逆立ち天使さん)

●逆立ち天子6189さん

こんばんは。

法隆寺が史書にある様に焼亡してるとすれば、現存する建築物との整合性がありません。昔川が流れていた近くに”留め置き”と言う地名がある様に、わたしも移築説に同意しています。

倭国の観音寺の物を移築したと言う説です。

聖徳太子も倭国の人物で、近畿王朝には時代的にも未だ太子制がありませんでした。

史書を見ても、太子と名乗るのは聖徳太子一人だけ党不思議さに誰も違和感を抱かないのが不思議でなりません。

また救世観音、百済観音などの造形にも違和感を抱くのも、倭国から奪い取ってきた仏像だからだと思うのですが。

☆私は以前、梅原猛書の「隠された十字架 法隆寺論」を読んで以来、法隆寺には大きな興味を持っています。

法隆寺の七不思議や七つの謎など多くの疑問に驚いています。

しかし、分からないことが多く、これからもっと調べてみたいと思っています。

●rinzoさん

法隆寺は本当に素晴らしいですね。

お寺の持つあまりにも重い「歴史」で言葉を失います。

いやー、また法隆寺にお参りに行きたくなってきました。近々行ってしまおうかもしれません(笑)。

☆私は2回目でしたが、法隆寺や東大寺、薬師寺など何回でも行きたいです(笑)

救世観音をご覧になられたのですね。

まだ拝んだことがないので羨ましく思います。

☆タイミングよく拝観できました。自分のカメラで写せないのは残念です。

●flamenco22 さん

クマトツさん、ご無沙汰してます〜^^;

お変わりないですか？

法隆寺、荘厳ですね〜

私も、行ってみたいです□

仏像のお顔、かなり迫力ありますね。

小さい子は、怖がっちゃいそうです〜(*_*)

☆若い人はこれから訪ねられるチャンスはいくらでもありますよ。

仁王像はさすがに迫力満点ですね。

●kopanda06 さん

こんばんは。

「下馬」の石碑は、奈良ではよく見かけます。

これも地域性でしょうか。

法隆寺のお隣の法起寺にも立派な下馬の石碑があります。

☆「下馬」の場所はそれほどポピュラーだとは知りませんでした。考えてみると日本全国どこにでもあって当然な場所ですよ。しかし記念碑的にその場所に石標などがあるのは知りませんでした。

私がよく行く法隆寺ですね。

ここの仁王像は特に好きです。

何が良いとって、この仁王様までは無料で見ることができますので。

☆鹿児島には破壊された石像の仁王像はたくさんありますが、このようなものはほとんどありません。歴史も迫力も違います。今回、改めて素晴らしいなと思いました。

●あんたさんのなんたさん

こんばんは。

以前法隆寺に伺った時には閉門間際だったのでゆっくり見られず残念です。

よって下馬にも気づきませんでした(-_-)

下馬評とはここからきているのですか…

鎌倉には下馬という地名があります。

中宮寺の半跏思惟像はステキですよ(*^_^*)

☆「下馬」という地名までであるとは驚きです。現在で言えば社有車で駆けつける社長族の車のたまり場というところでしょう。そこでは現在も運転手同士で様々な「下馬評」が語られているのでしょうか。政治家また然り。

●kopanda06 さん

こんばんは。

救世観音の特別拝観はラッキーです。

フェノロサらの開帳の逸話を知るとさらに…。

☆帰ってからいろいろ調べましたが、明治政府の許可をもらって秘仏を開帳させたフェノロサに感謝ですね。

ところで救世観音のモデルは、聖徳太子、それとも山背大兄皇子と思われませんか？

あの異国風のふっくらとした顔つきからは、いずれにしてもイメージが変わってしまいそうですが。

☆う〜ん 難しいですね。現在の私の知識や感性からは答えが出ません。もう少し勉強してみます。

2015.2.27 作成 **法起寺から元興寺へ**
271 272

法隆寺を出発したバスは法起寺 三重塔を横に見ながら一路法隆寺へ向かう。以前奈良を訪ねて時も法隆寺の帰りにタクシー車窓から見ただけで今回こそと思っていたが、願いは果たせず。団体のため止むなし。

ここは聖徳太子が法華経を講説した岡本宮を寺に改めたものと伝えられている。ここの三重塔は現存する日本最古のものであり、法隆寺とともに世界遺産の指定を受けている。なおプロ友・kopanda さんによるとこの法起寺にも「下馬」があるとのことである。見たかった。

バスはこの日最後の訪問場所の「元興寺」に着く。272 273

この門は、鎌倉時代の建物として雄大な気風と、すぐれた意匠を持つ四脚門である。もと東大寺西南院にあった門を元興寺の極楽坊正門として応永18年(1411)この場所に移設されたものである。東門の設置により極楽坊本堂を中心とする一画が元興寺旧伽藍から独立した中世寺院として再生したことを示している。(東門案内板)

本堂 274

ここにも五輪塔板碑があった。ただ鹿児島で多く見られる「双式五輪塔板碑」を見つけることは出来なかった。これほど多くの石仏などを目にしたのは初めてでしばし去りがたく写真を写しまくった。

このあと、この日の宿の興福寺近くの飛鳥荘に向かった。

ブログ応答

●悠々愛々さん

こんちわあ～～・・すっ。。

先輩、至福の時でしたねえ～！！

こんな石仏に囲まれて・・

わいは、まだ解脱していないから、熟女に囲まれるのが

いいだす・ハンソン・・

☆もう最高でござした。

奈良まで行ってこれほどの石仏群に出会えるというのは、日頃の精進の賜物でござす。

●逆立ち天子6189さん

古人の営為に、懐かしさを覚えるのは、何故でしょうね？

☆連綿と続く人の営みに心を馳せるためでしょうか・・・。

古人も同じ景色を見たと思うと感無量なものがあります。

●南国 shirokuma さん

世界遺産行ったのはまだ少ないです。歳月をかけてたくさん行ってみようと思っています。

この日の写真何かピンときませんか。(笑)

<small>

<http://plaza.rakuten.co.jp/shirokuma2009/diary/201502250000/> ;/a×/small>

☆まさかと思い一瞬目を疑いました。もうびっくりです。ありがとうございました。

●じじくさい電気屋さん

今晚は、何時もありがとうございます。

法隆寺私が訪ねたのは中学校の修学旅行の時、随分昔の事になります。

その頃のアルバムの写真は白黒写真、記憶もかすかになりました。

石塔は凄い数ですね、500羅漢はもた事有りますが2500の石塔は見事なものでしょう。

☆私も石造物の予備知識は全然持っていないので、もうびっくりするばかりでした。嬉しくて・・・。
大学カボチャちょうど摺り胡麻しか無くかけましたら見た目汚らしく汚れているかのように写真は胡麻を掛ける前です。でも摺り胡麻をかけた大学カボチャはとても美味しかったですよ。

ありがとうございました。☆私もカボチャは大好きです。

●kopanda06さん

こんばんは。

法起寺の写真で手前に写っているのが駐車場。

5分でも、その駐車場に止めてもらえれば。

ちなみに「下馬」があるのは、法隆寺とこの法起寺の間にある法輪寺。

この場所に3つの見所が集まっていますので、私は法輪寺の駐車場に車を止めて、3つのお寺をめぐる。

☆地元の人ならではの知恵ですね。5分間の勇気を出せば良かったと今になって思います。

そうなのです。

五輪塔板碑はありますが、双式は見かけません。

双式が多いのは鹿児島の特徴ではないかと思っています。

☆ますます地元の五輪塔双式板碑に興味を募ります。

場所は分かっているが未だ訪問していない所が数箇所ありますから訪問して写真を撮りたいと思います。